



オ～し・オ～し若者オ～!

がんばれ新成人

日立市内で平成6年に成人を迎えた人3519名。社会へ巣立つ若者たちの声を聞いてみました。

(成人祝実行委員)

☆式典の必要性は?

「はじめとしてやった方がよい」が過半数。

☆成人式に参加しての感想は?

昔の友人に会えてよかった。
一生の思い出となる。
外で行なうより、室内の方が緊張感があるのでは。

☆将来の夢は?

ゆっくり世界(日本)一周の旅。
普通の暮らし。

☆日立市がどんな町だったらよいか。

若者が集まるまち。
東京、横浜みたいな明るく活動的なまち。

もっと緑の多いまち。

☆将来日立に住みたいと思うか。

「思う」が半数。

☆日立で好きな場所。

海、新都市広場、神峰公園。

☆今、一番欲しいもの。

車、お金、家、時間、愛。

☆今、一番尊敬している人。



■パティオ広場でくつろぐ新成人の皆さん

部活の先生、母、プロサッカー選手、友達。

☆あなたの大人のイメージは?

自己コントロールの出来る人。
常に夢をもっている人。
常識のある人。
年をとってもかっこいいさわやかおじさん。

自分に正直に生きている人。

☆環境問題をどう考えるか。
大気汚染については行政は積極的

に対策をとるべきだ。
個人でできることから始めるべき。
買物をしたらごみの多さに驚く。
政府、大企業が真剣に考えて。
森林をもっと大切に、緑が一杯の日本にしてほしい。

明るい笑い声 私の学ぶ場 飛鳥クラブボランティア

障害を持った人たちの生涯学習の場として平成5年7月に誕生した「飛鳥クラブ」。月1回行なっているこのクラブの活動には、茨キリ大学の学生や20代の若者たち約20名がボランティアとして協力しています。



■ボーリングを楽しむクラブの人たち

日頃の感想を聞いてみました。

★簡単なゲームやボール遊び等、皆でいろいろな事をするのが楽しくムキになってやっています。

★明るい笑い声が絶えないのがいい、みんなの優しさに感動中です。

★飛鳥クラブの仲間という時が私の学ぶ場であり安らぎの場です。

★障害者より身近な存在として感じています。

★日曜の早起きはつらいけれど皆と遊べると思うとパッと目がさめます。

★仲間は何事にも積極的に明るくスポーツを通してみんなが助け合い協力しあう姿は素晴らしいと思います。

少年団で活躍のシニアリーダー

小学校4年生のとき友達に誘われ、バドミントン少年団へ入団。これがきっかけでレクリエーションシニアリーダーの資格をとった松岡さんに聞きました。

指導者の親切な指導のおかげでバドミントンが楽しくなり、小学校を卒業してからもお手伝いをしたいと思うようになり、中学生でジュニアリーダー、高校ではシニアリーダーの資格を取りました。現在は子どもたちのまとめ役をしています。

諏訪太鼓 打ち手に女子高生

お諏訪太鼓は「諏訪の森に和太鼓の音を響かせたい」と、県の無形文化財諏訪散々楽の笛方の有志が、長野県の諏訪大社保存会の手ほどきを受けて誕生してから15年目になり



ます。

そのお諏訪太鼓に昨年女子高生4名の打手が加わり、その響きが一段と輝きを増しています。

彼女達が、このお諏訪太鼓に加わったのは、本人たちの希望とのことだが、その背景には太鼓を存続させたいとねがう大人たちが、子ども会に呼びかけ、盆踊りのお囃子を子どもに教えてきたことにあります。

この太鼓は「鮎川流し…」など、諏訪の自然や生活から創作されているが、若者の感覚がどのように自分の住む地をとらえ、これからどんな太鼓を創り出すか楽しみだ。そして「彼女たちは覚えが早いんですよ」と打ち手の会長は目を細めています。

練習時間など大変さは想像されませんが、しっかり地元を根を張れとみんなが見守っています。

フェスタ'93 おもしろベスト10 来場者アンケート

- ①リサイクル目的のジャンボフリーマーケット
- ②リサイクルと電力クイズ
- ③東京ガス吹奏楽団演奏
- ④市民協レインボーフェスティバル
- ⑤科学館サイエンスショー
- ⑥ライフ・ケア・ひたちの模擬店
- ⑦市民教授展示・指導
- ⑧オープニングセレモニー
- ⑨資源再利用
- ⑩シクラメン・ランの栽培・指導・販売

再生資源収集の新方法

問題点を話し合う

2月5日(土)午後1時から助川コミセンで、8学区(中小路~河原子)のコミュニティ推進者約80人が集まって、「地球の環境を考える」をテーマに、再生資源分別の新方法について話し合いが行われました。

最初に、竜ヶ崎市で自ら実践している岡部小春さんから、町内会(1200戸)で分別収集を始めた動機、現状、問題点等について話がありました。特に実践する上では自治会役員だけではなく、住民一人ひとりが納得するまで話し合うことが大切であり、生活者の立場に立った行政の考え方、住民の協力体制、回収業者の育成の3点を強調されました。

引き続き実践者代表の成沢の加藤さん、業者を代表して日立環境センターの篠崎さん、行政からごみを減らす課を助言者にディスカッションが行われました。どうしたら、ごみを減らすことができるのか。新方法を行っている地区が少ない。立ち番の問題点。出す人の不心得。分別し

各所で真剣に取り組む 一環◆境◆問◆題



た資源を業者と一緒にしてしまう等と活発な意見が出されました。これに対し、諏訪、油繩子、成沢の実践者から問題解決の苦労話などがあり有意義な話し合っていました。

しかし、実践している人々と行政の問題把握意識にずれが感じられ、行政にはもっと問題の本質を見極めた話し合いをしてほしいとのささやきが聞こえてきました。

企業 地域に貢献

~地球にもやさしく~

市内の企業や事業所等の資源の有効利用・環境問題への取り組みや、企業の特徴を生かしたさりげない地域貢献、新しいテーマに添った動きなどを取材しました。

小学生の工場見学を大歓迎

日製リビング機器事業部 電化機器本部(旧多賀工場)

この事業所は、従来から家電製品をつくっていることもあって、小学校5年生の社会科「工場で働く人」の授業の一環として見学したいとの市内外からの要望に応じて、積極的に応援してきました。

しかし、小学校のカリキュラムが変わり「工場で働く人」の授業が5年生から3年生に引き下げられたことを受けて、これに対応するため平成5年、日立市教育研究所のアドバイスを受け、小学校3年生からの見学受け入れ体制を整えました。

事務所では見学の時、話だけではわかりにくいと、3年生にも理解できるようなスライドをつくる準備をしているとか。

「固いイメージがあるかも知れませんが、お父さんの働いているところをぜひ見て欲しい、いつでもどうぞ」と庶務課主任の阿部さん。小学生の見学を歓迎しています。

日立駅前開発地区に オフィス町内会がスタート

この度、駅前開発地区の商店街やこの地区で事業活動を行っている会社・団体など28事業所がオフィス町内会をスタートさせました。

この町内会は、地区内環境の美化、各事業所の古紙回収や地域行事への積極的参加、情報交換等によって地域の活性化をはかり、こころ豊かなまちづくりに寄与しようというものです。

さっそく第1回目の事業として去る1月21日には、各事業所からたくさんの人たちが参加して地域清掃に汗を流しており、今後の活動と広がり大きい夢を感じました。

なお、事務局は当分の間シビックセンターが担当するそうです。



産業廃棄物 クリーン・リサイクル事業

日鉱金属

「日鉱金属は永きにわたって日立市の発展に寄与してきました。一方、その過程において大煙突に象徴されるように、常に環境問題の解決という課題に対処してきました。そして、今、企業の社会的使命と責任に別の角度から真剣に取り組んでいるのがグリーン・リサイクル事業です。」と、C&R課長の宮崎さん。

1978年にスタートしたこの事業の目的は、製品として役目を終えた産業廃棄物から有価金属を回収し、再び資源に戻すリサイクル化と、処理困難な産業廃棄物の無害・減量を図るクリーン化、の二つです。

社会の高度成長に伴って生じた産業廃棄物の処理をはじめとする環境問題は、今や企業のみならずすべての人々が地球規模で取り組まなければならない状況に立たされています。

日立の街のシンボルともなっていたあの「大煙突」は、天寿を全うするかのごとく姿を変えてしまいましたが、創業以来「無公害操業」をもって地域との共存共栄と自らの責任を問いつけてきた同社の企業精神は、時代に先駆けて今も脈々と受け継がれ、私たちに改めて人間としての生きる姿勢をも考えさせてくれます。



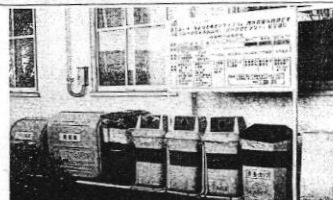
全国でもトップレベルの普及率 日立の下水道

あなたは地下に潜った下水の行方について考えたことがありますか。昨年末のフェスタ'93でとりあげた「下水道」は予想を上回る反響があり、環境問題に対する市民の関心の高さを示しました。

下水はふだん直接私たちの目に触れません。ゴミを流すのは簡単です。無意識に流したわずかな油で下水道が泣いているかもしれません。それどころか、紙オムツのようなとんでもない物まで流れてきて、処理場の運転に支障をきたしていることも少なくないのです。下水道は家庭から出た汚水を処理してきれいな水にしたり、コンポスト(肥料)にして地球に戻す大切な役目をしています。

全国でもトップレベルの高い普及率を誇っている日立の下水道。見えないところで市民の生活を支えてくれる「下水道」。この機会に感謝をささげ、認識を新たにしてみたいものです。

徹底/新リサイクルシステム 日立電線工場



リサイクル推進分科会が中心になり、工場で発注するすべての廃棄物の削減とリサイクル推進を平成5年度から強力に進めています。

廃棄物処理費の削減と同時に、資源の有効活用と地球環境の保護に少しでも役立てることを目的としてスタートしました。

このシステムを進めるには一人ひとりの意識が大切と、標語募集やビラ配りをしたり、より多くの従業員に理解してもらうため、各現場で朝礼でリサイクル法を説明を行います。7区分の分別を徹底するために看板や新しい専用容器を24か所に設置、また、すべての紙をごみにしないために各職場にシュレッダーを配置しました。焼却の紙ごみは透明ポリ袋に入れ部署名の記入を義務づける徹底ぶり。

回収する人にもやさしい取集方法を取るなど細かい配慮もしています。「会社での習慣が家庭でもついでしてしまう」という業務課長の猪俣さんの話は印象的でした。

講座会員募集

エリカサークル (社交ダンス) 毎週金曜日 午後7時~9時 東多賀河原子コミュニティセンター 男女15名(初心者歓迎)月1,000円 永井(34-0794)、宇野(22-2544) 午後6時~

ツボ療法あやめの会 毎月第2・第4火曜日 午前10時~12時 仲町コミュニティセンター 一般(若干名)月1,000円 佐藤(22-1712) 朝7時~9時

カラオケの集い 一初歩の音符のよみ方・歌い方 第3日曜日(3月から) 午前10時~正午 白銀町公民館 年齢性別問わず 30名 無料 菊池(21-5615)

助川ギターは友だち(クラシックギター) 毎月第2・第4木曜日 午後1時半~3時半 助川コミュニティセンター 10名(初心者) 2,000円 小貫(21-0335)

ホームヨーガ教室 毎週木曜日 午前10時~11時45分 東多賀河原子コミュニティセンター 老若男女 1,500円 野田(34-0369)

日立桜まつり・桜サンパの歌と踊りが出来ました。！！

日立の桜を全国に知ってもらおうと、いつでも、どこでも、誰でもできる日立市民の「明るい歌と踊り」が完成。 ※発表会&歌謡ショー(志摩幸子・若条まゆ美) ◆4月2日(出) 午後1時~1,900円 ◆日立市民会館大ホール(戸数24-6445) 日立市健康づくり推進協議会 日立桜まつり発表会実行委員会